

社会資本総合整備計画評価審議資料【都市整備課】

○計画の名称

⑤「拠点性の高い、にぎわいあふれるまちづくり」

- ・説明資料（スライド）・・・p. 1
- ・社会資本総合整備計画事後評価書・・・p. 7

事後評価 社会資本総合整備計画

拠点性の高い、にぎわいあふれるまちづくり

都市建築部 都市整備課
令和7年2月12日

社会資本総合整備計画の事業評価について



社会資本整備総合交付金（略称：社総金）

社会資本総合整備計画の策定

- ・地域が抱える政策課題を地方公共団体自ら抽出
- ・課題に対して3～5年間で達成することを目標とする定量的な指標を設定
- ・目標を達成するために必要となる事業箇所を選定
- ・自主的に整備計画の妥当性等を評価した後、計画を国土交通大臣に提出

事業実施（3～5年）

事後評価

【評価事項】

- ①事業の進捗状況
- ②事業効果の発現状況
- ③成果目標の実現状況
- ④今後の方針



- ・岐阜県事業評価監視委員会への意見聴取
- ・事後評価の結果の公表、国土交通大臣への報告



計画名称

拠点性の高い、にぎわいあふれるまちづくり

計画の期間

平成31年度～令和5年度（5年間）

計画の対象

道路整備事業（バイパス整備、現道拡幅、歩道整備）

全体事業費

7,400百万円

計画の目標

都市部におけるまちづくり、または安全・円滑な交通の確保、中心市街地の活性化に資する都市計画道路の整備により、幹線道路網の構築、渋滞緩和または解消、交通結節点の整備、歩行者空間の確保、大規模プロジェクト（東海環状自動車道ICアクセス強化等）の支援を図り、資源を活かした活力ある県土を形成する。

成果目標（アウトカム指標）

県内道路網の整備や中心都市へのアクセス強化により、産業物流の効率化や中心市街地や観光の活性化、次世代育成環境における安全・安心な道路づくりの促進を図る。

1. 渋滞緩和、走行環境改善による移動時間短縮便益 ⇒目標：4,152百万円/年
2. 対象事業での用途地域内における歩道整備率 ⇒目標：92%

3

（１）事業の進捗状況



事業箇所	整備箇所	計画期間内に完了箇所	現在整備中箇所
（都）長良系貫線（正木工区）	岐阜市	R5完了	
（都）神田神戸線	大垣市	R5完了	
（都）大野揖斐川線	大野町		○
（都）妻木線	土岐市	R4完了	
妻木南部地区（（都）妻木線外1路線）	土岐市	R4完了	
（都）高富美濃線	美濃市		○
（都）長良系貫線（三橋工区）	本巣市		○
（都）犬山東町線バイパス（1期工区）	各務原市		○
（都）音羽小名田線	多治見市		○
（都）大垣神戸大野線	神戸町・大野町	R5一部区間完了	○
（都）大垣関ヶ原線	垂井町		○
（都）岐阜鶴沼線	各務原市		○
合計	12箇所	5箇所	8箇所

(2) 事業効果の発現状況 (事業位置)



事業箇所位置図

全要素事業（12事業）の位置は、下図のとおり。



5

(2) 事業効果の発現状況①



事業概要

- 事業名：(都) 長良系貫線 (正木工区)
- 整備箇所：岐阜市 正木 地内
- 事業延長：約0.5km
- 完 成：約0.5km (令和5年度)



位置図



整備状況写真

整備前



整備後



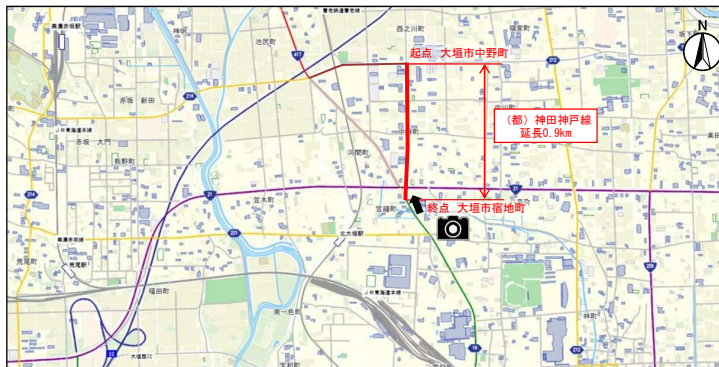
東海環状自動車道 岐阜IC及び岐阜大学附属病院へのアクセス機能の強化

(2) 事業効果の発現状況②



事業概要

- 事業名：(都) 神田神戸線
- 整備箇所：大垣市中野町
～大垣市宿地町
- 事業延長：約0.9km
- 完 成：約0.9km (令和5年度)



位置図



整備状況写真

整備前



整備後



周辺道路の渋滞緩和と安全な歩行空間の確保に寄与

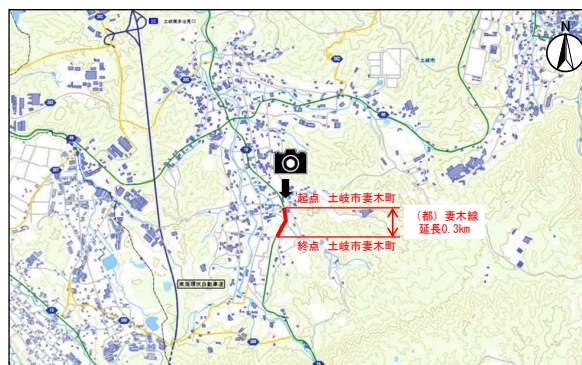
7

(2) 事業効果の発現状況③

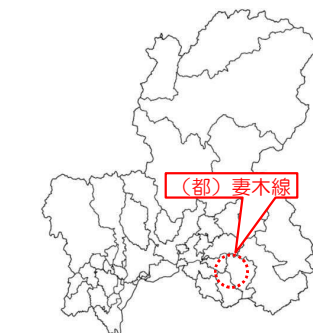


事業概要

- 事業名：(都) 妻木線
- 整備箇所：土岐市妻木町地内
- 事業延長：約0.3km
- 完 成：約0.3km (令和4年度)



位置図



整備状況写真

整備前



整備後



周辺道路の渋滞緩和と安全な歩行空間の確保に寄与

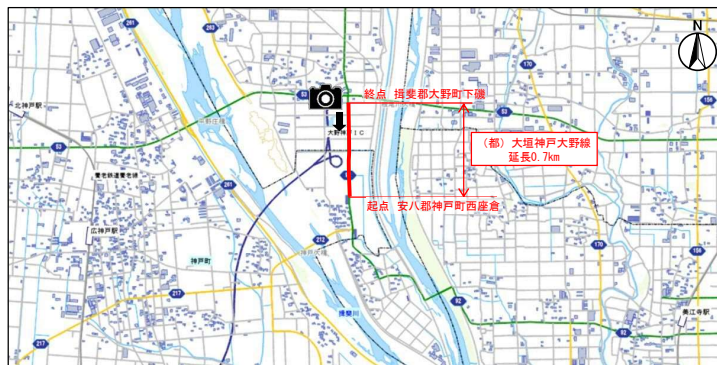
8

(2) 事業効果の発現状況④



事業概要

- 事業名：（都）大垣神戸大野線
- 整備箇所：安八郡神戸町西座倉
～揖斐郡大野町下磯
- 事業延長：約0.7 km
- 完 成：約0.3 km（一部区間完成）

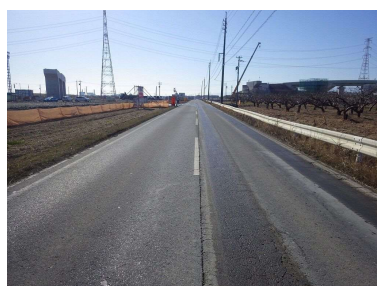


位置図



整備状況写真

整備前



整備後



一部区間完成により、走行環境改善、安全で快適な歩行空間の確保に寄与

(3) 計画の成果目標（定量的指標）の実現状況



■定量的指標

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| 1. 渋滞緩和、走行環境改善による移動時間短縮便益 | ⇒目標：4, 152百万円/年 |
| 2. 対象事業での用途地域内における歩道整備率 | ⇒目標：92% |

■定量的指標の算定式

- 評価時点の各要素事業の短縮時間×区間の交通量×時間価値原単位
- 評価時点での整備延長÷都市計画決定延長×100

■事業効果

定義	目標と指標及び目標値の関連性	目標値 (R5末)	結果 (R5末)	適用
移動時間短縮便益	都市計画道路の整備により 道路交通の円滑化を図る	4,152百万円/年	2,359百万円/年	未達成
歩道整備率	歩道の連続的な整備により 中心市街地の活性化に資する 歩行空間を確保を図る	92%	80%	未達成

(4) 今後の方針（案）



◆定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

- 12事業のうち、10事業の計画期間内の完了を見込んでいたが、4事業が完了、1事業が一部区間の完了に留まったため、目標値を達成することができなかった。

◆目標値を達成できなかった原因と対応

- 街路事業では、市街地内に道路を整備するため補償物件が多く、地権者との調整や建物の移転等に期間を要するため、それらを考慮して目標値を設定した。
- しかし、事業を実施する中で、全ての権利者の同意を得ることや埋蔵文化財の調査などに想定以上の期間を要し、計画期間内に全ての事業が完了できなかった。
- 計画期間内に完了できなかった事業は、早期完成に向けて、事業を継続して実施している。そのうち、東海環状ICアクセス道路関係の3事業は、東海環状の開通に間に合うよう令和6年度中に完了予定であり、1年遅れで事業効果が発現される。

◆今後の方針（案）

- 計画期間内に完了できなかった事業は、次の社会資本総合整備計画の中に位置づけ、引き続き用地交渉や埋蔵文化財の調査等を進めるとともに、土地収用制度の適切な活用等を検討し、早期に完了できるよう推進していく。

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	拠点性の高い、にぎわいあふれるまちづくり										重点配分対象の該当		
計画の期間	平成31年度	～	令和05年度	(5年間)									
交付対象	岐阜県												
計画の目標	都市部におけるまちづくり、または安全・円滑な交通の確保、中心市街地の活性化に資する都市計画道路の整備により、幹線道路網の構築、渋滞緩和または解消、交通結節点の整備、歩行者空間の確保、大規模プロジェクト（東海環状自動車道ICアクセス強化等）の支援を図り、資源を活かした活力ある県土を形成する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	7,400	A	7,400	B	7,400	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）									
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値								
		当初現況値	中間目標値	最終目標値						
		H30当初	H32末	H35末						
1	県内の主要拠点を結ぶ道路網の整備や中心都市へのアクセス強化による走行性の改善を図り、移動時間を短縮する。 道路が整備されることによる渋滞緩和や走行環境改善により短縮できる移動時間を便益で算出 評価時点の各要素事業の短縮時間×区間の交通量×時間価値原単位	0百万円／年	百万円／年	4152百万円／年						
2	安全・安心な道路づくりにより、中心市街地の活性化に資する歩行空間を確保する。 対象事業での用途地域内における歩道整備率を整備延長から算出 評価時点での整備延長÷都市計画決定延長×100	70%	%	92%						
					</					

案件番号：

A 基幹事業																												
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況									
												H31	R02	R03	R04	R05												
		一体的に実施することにより期待される効果																										
道路事業	A01-001	街路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	S街路	改築	(都) 長良系貫線（正木 工区）	道路改築 0.5km	岐阜市	■	■	■			960		—									
												備考																
	A01-002	街路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	S街路	改築	(都) 神田神戸線	道路改築 0.9km	大垣市	■	■	■	■	■	950		—									
	A01-003	街路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	S街路	改築	(都) 大野掛斐川線	道路改築 0.7km	大野町	■	■	■	■	■	300		—									
	A01-004	街路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	S街路	改築	(都) 妻木線	道路改築 0.3km	土岐市	■	■	■			190		—									
	A01-005	街路	一般	岐阜県	間接	土岐市妻木 南部地区土 地区画整理 組合	区道	改築	妻木南部地区（（都）妻 木線外 1 路線）	区画整理 12.6ha	土岐市	■	■	■			280		—									
	A01-006	街路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	S街路	改築	(都) 高富美濃線	道路改築 0.4km	美濃市	■	■	■	■	■	240		—									
	A01-007	街路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	S街路	改築	(都) 長良系貫線（三橋 工区）	道路改築 0.5km	木曽市	■	■				30		—									

案件番号：

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果	一般	岐阜県	直接	岐阜県	S街路	改築	(都) 犬山東町線バイパス（1期工区）	道路改築 0.5km	各務原市	H31	R02	R03	R04	R05	2,040	2.4	—
道路事業	A01-008	街路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	S街路	改築	(都) 犬山東町線バイパス（1期工区）	道路改築 0.5km	各務原市	■	■	■	■	■	2,040	2.4	—
	A01-009	街路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	S街路	改築	(都) 音羽小名田線	道路改築 0.3km	多治見市	■	■	■	■	■	510		—
	A01-010	街路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	S街路	改築	(都) 大垣神戸大野線	道路改築 0.7km	神戸町・大野町			■	■	■	1,200		—
A01-011	街路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	S街路	改築	(都) 大垣関ヶ原線	現道拡幅 0.6km	垂井町					■	■	500		—
A01-012	街路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	S街路	改築	(都) 岐阜鶴沼線	道路改築 0.7km	各務原市						■	200	6.7	—
											小計						7,400		
											合計						7,400		

案件番号：

事後評価		
○事後評価の実施体制、実施時期		
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期	
岐阜県事業評価監視委員会に意見を徴収	令和7年2月12日	
	公表の方法	岐阜県ホームページで公表予定
○事業効果の発現状況		
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・12事業のうち、4事業が完成、1事業が一部区間の完成であったため、移動時間短縮便益および、歩道整備率の目標値を達成することができなかった。	
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）		
○特記事項（今後の方針等）		
・期間中に完了しなかった事業については、引き続き、社会資本整備計画の中で計画的に都市計画道路の整備を進めていく。		

案件番号：

○目標値の達成状況				
指標（略称）				
番号	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因		
1	渋滞緩和、走行環境改善による移動時間便益	12事業のうち、計画期間内に完成したのが4事業のみであったため。		
	最終目標値 4152百万円／年			
	最終実績値 2359百万円／年			
2	対象事業での用途地域内における歩道整備率	12事業のうち、計画期間内に完成したのが4事業のみであったため。		
	最終目標値 92%			
	最終実績値 80%			